

# SDGsを国際法の 観点から考える

## 西南大で 高校生らが課題学ぶ

GS (持続可能な開発  
国連の掲げる「SD

目標)」を国際法の観点から考えるイベントが18日、西南学院大(福岡市早良区)の図書館であった。参加した高校生ら約20人がSDGsの課題を学ぶカードゲームを楽しんだ。

同大法学部国際関係法学科の根岸陽太准教授のゼミ生が企画。ゲームは架空の国が貧困やジェンダー、気候変動などSDGsの目標数に合わせた17の分野で課題を抱えていると設定。参加者はグループごとに図書館内で目標達成につながる国際

法を記したカードを探し出し、解決に向けてどのような条約や宣言があるかを学んだ。

精華女子高2年の緒方華さん(17)は「国際法は自分と関わりが薄いと感じていたが、海の豊かさを守るための条約は身近に感じた。環境のためにエコバッグを使うなどSDGsを意識した生活をしていきたい」。同大4年でゼミ長の池田若葉さん(21)は「若者にもSDGsを少しでも身近な課題として考えてもらいたい」と話した。

【竹林静】



SDGsを考えるカードゲームに参加する高校生ら